



生活科・総合的な学習の時間

PBL(プロジェクト型学習)で児童生徒は変わる！

～江田島市立能美中学校区の実践～

内容

- 1 育成したい資質・能力の設定
- 2 PBLの授業展開
- 3 本年度の成果と課題

1 育成したい資質・能力

令和3年度 「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」指定地域

<小中9年間で育てたい資質・能力>

主体性 伝え合う力 やりきる力

<研究主題>

児童生徒の探究的な学びが生まれる授業の創造
～小中9年間を見通した生活科・総合的な学習の時間の在り方～

【本年度の取組内容】

- ① プロジェクト型学習に関する理論研修
- ② 小中9年間で育てたい資質・能力の明確化とルーブリック作成
- ③ 生活科・総合的な学習の時間の全体計画の見直し

1 育成したい資質・能力

児童生徒の探究的な学びが生まれる生活科・総合的な学習の時間の在り方

〔小中連携教育の目標〕 ふるさとを愛し，ふるさとに学び，ふるさとに貢献する児童生徒の育成

カリキュラムをつなぐ

- 小中9年間で系統的に育成したい資質・能力の設定と共有
- カリキュラム・マネジメントとPBL（プロジェクト型学習）による単元開発
- 単元構想シートの活用
- 目標と評価の一体化

研究主題を実現する3つの「つなぐ」

義務教育9年間で児童生徒を育てる

地域をつなぐ

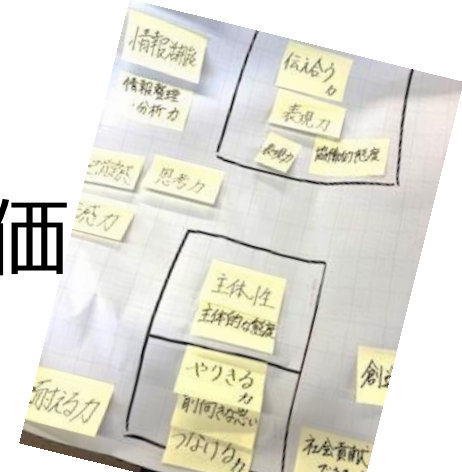
- 地域との協働の促進
ゲストティーチャー，里海学習，
地域ボランティア等
- 学校を支援してくれる地域企業の発掘
- カリキュラムに関する外部評価の実施
- 地域人材との連携窓口設置

先生や子供をつなぐ

- 校区内の小・小／小・中連携の推進・充実
- 研究通信の発行による細やかなサポート
- 先進事例の収集，紹介

1 育成したい資質・能力

小中9年間で育成したい資質・能力の評価 (ルーブリック)



キーワード	低学年	中学年	高学年	中1	中2	中3
【主体性】 やる気をもって 自分から進んで 課題発見	目的意識をもって、進んで活動し、結果を振り返り、新たな課題や生活とのつながりを見付けている。			自ら課題を見つけ、さまざまな手段で情報を集め、活動を進める上で起こりうる課題を予測しながら課題解決の計画を立て、学びの体験を常に振り返りながら探究的に行動している。		
【伝え合う力】 協働し 受信＋発信	相手を見て黙って聞く。	反応しながら聞く。	相手の言いたいことを考えながら聞く。	相手の考えを理解し、自分の考えと比較しながら、傾聴している。	相手の考えを理解し、自分の考えとすり合わせながら、傾聴している。	相手の意図や気持ちを大切にしながら傾聴し、正確に理解している。
	相手を見て話す。	終わりまではっきりと話す。	伝えたいことが分かるように、意見をまとめて話す。	意図したことを正確に分かりやすく伝え合っている。	意図したことを場面や状況に合わせ、簡潔に伝え合っている。	相手の理解の程度を推し量りながら、互いの考えを生かして伝え合っている。
【やりきる力】 最後までやりきる 諦めない 粘り強く	好き嫌いせずに決められたことをやりきる。	決められたこと以外でもあきらめずにやりきる。	自分で決めた目標に向かって、粘り強く取り組む。	途中で諦めずに最後までやり遂げている。	自ら改善すべき点を発見し、精一杯最後までやり遂げている。	課題発見・解決を何度も繰り返し、創意工夫を重ねて粘り強く最後までやり遂げている。

2 PBLの授業展開

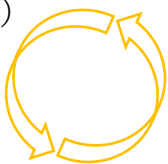
中町小学校でのPBLの取組

4 学年 「中町小☆きらきら☆プロジェクト！」 ～NTまあるくつなぎ隊～

課題設定

- 人にやさしい町ってどんな町？
- 福祉って何？
- くわしく知っている人は誰かな？

展開

- 情報収集（GT、体験等）
 - 分析・整理
 - 表現（リーフレット等）
- 

まとめ

- 発信（学習発表会、サロン訪問）
- 振り返り

総合的な 学習の時間	第 4 学年	江田島市立中町小学校	指導者 濱本純子
単 元 名	「人にやさしいまち江田島」 ～どんな人でも住みやすいまちにするには？～		
本単元で育成する資質・能力		主体性	
4 本単元に関する「本質的な問い」について			
【本質的な問い】（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」） どんな人でも安心して暮らせる町とは？			
↓			
【単元を貫く問い】（単元を通して考え深めていく「問い」） 江田島市を、どんな人でも（もっと）暮らしやすいまちにするためには、自分にはどんなことができるか？			
↓			
【個別の問い】（授業内で身に付ける知識・技能等） ○「人にやさしい町」とは、どんな町だろうか。 ○「福祉」とは何だろう。くわしい人に話を聞きたい。 ○高齢者は、普段どんな気持ちになるのか？普段の生活で困っていることはなにか？高齢者にどんな支援が必要か？			

【単元の目標】

本単元は、自分たちの生活する地域が抱える課題から誰もが住みよい地域にするために今から自分たちにできることを探っていこうとする単元である。江田島市には、65歳以上の人口が約44%で、約2人に1人は高齢者である。地域住民の高齢化と核家族化により、「話す相手がいない」「買い物やゴミ捨てが大変だ」「掃除が難しい」といった悩みを抱えながら孤独に暮らす地域の人が増加しているという課題がある。本単元は、児童がこうした課題を捉え、地域の人々の孤独の解消に向けて、地域の誰もが集い交流できる「やさしい町づくり」を活性化していくことを通して、社会の課題解決に向けて主体的に取り組もうとする態度を育てようとするものである。

2 PBLの授業展開

中町小学校でのPBLの取組

4 学年「中町小☆きらきら☆プロジェクト！」

～NTまあるくつなぎ隊～

次なる目標
人だけじゃない！
自然や生き物はどうかろう？

発信：地域や社会

まとめ・表現：リーフレット

人にやさしい町って
どんな町だろうか？

情報収集：GT

まとめ・表現

課題の設定

情報の収集

整理・分析

課題の
更新

課題の
更新



体験活動でさらに情報収集



2 PBLの授業展開

10 24回 えたじまんのつどい通信 番外編 中町小4年生が福祉について学ぶ

中町小学校4年生の生徒は、今年度、総合的な学習の時間で、福祉について学んでいます。

これまで、「地域の方にインタビューし、自分たちができることを教えてもらう」「高齢者体験や車いす体験し、高齢者がどのような事に不安を感じるのかを体験する」「認知症サポーター養成講座を受ける」などをしてきました。

そして、学んだことをリーフレットにまとめ、中町小学校の学習発表会で発表しました。当日は、嵐の「カイト」に合わせて、オリジナルの“きらきら体操”を披露してくれました。この体操は曲の2番に百歳体操の動きを取り入れており、誰でも簡単にできる体操です。百歳体操の動きはシンプルなので、ゆっくりな曲なら何でも合わせられそうです。

支援が必要な方に手を行き届けることは、市としても、地域でも、大きな課題となっています。そうした中、若い世代が福祉を学び、人に寄り添う心を育んでくれていることは、とても心強いことです。

中町小学校4年生が作ったリーフレットは、地域包括支援センターのカウンターにあります。また、中町小学校ホームページからもダウンロードできます。



「広報えたじま 令和4年1月号」より

2 PBLの授業展開

鹿川小学校でのPBLの取組例

第6学年「Catch Your Dream!②」

～ふるさと江田島にこうけんしよう!～

課題設定

- 職業調べ（前単元の内容）
- 江田島市統計資料の分析結果の活用

情報の収集

- インターネットの活用
- G T（市役所、フード、移住者、地域おこし協力隊）へのインタビュー

整理・分析

- 課題解決に向けて、インタビュー内容の精査
- 中間発表を通して、スライド資料の修正

表現・まとめ

- G Tへの提案発表（予定）
- 議会アドベンチャーでの発信

総合的な 学習に時間	第6学年	江田島市立鹿川小学校	指導者 松井 円香
単元名	「Catch Your Dream ②」 ～ふるさと江田島にこうけんしよう!～		
本単元で育成する資質・能力		主体性	

本単元に関する「本質的な問い」について

【本質的な問い】（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）
“社会の一員として生きる”とはどういうことか。

【単元を貫く問い】（単元を通して考え深めていく「問い」）
ふるさと（江田島）に貢献するにはどうすればよいだろうか。

【個別の問い】（授業内で身に付ける知識・技能等）

- 江田島の現状はどうなっているのか。○江田島の抱える課題は何だろう。
- 問題に対する江田島の取り組みは。○どんな人が江田島のために活動しているのか。
- なぜわざわざ江田島で活動したり、店を開いたりしたのか。○今の自分たちにできることは。
- 将来、自分たちが仕事を通して江田島のためにできることは。

単元の目標

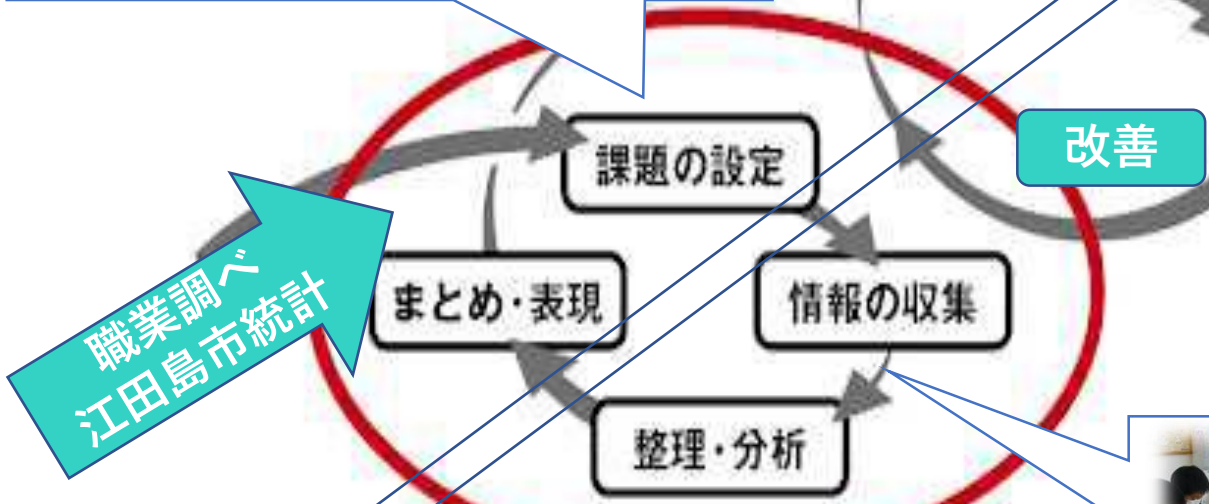
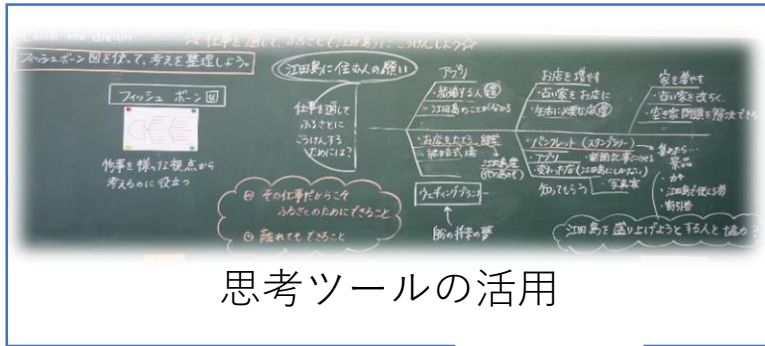
「ふるさと（江田島）に貢献するにはどうすればよいだろうか。」を問い続けることを通して、江田島のよさを再認識するとともに、自分と地域のつながりを理解し、収集した情報を根拠にして思考・判断・推論して江田島のためにできることを考えて提案の仕方を工夫し、自らの生き方に生かすことができる。

(1) 知識及び技能	(2) 思考力・判断力・表現力等	(3) 学びに向かう力・人間性等
江田島のよさを再認識し、自分と地域とのつながりを理解することができる。	収集した情報を根拠にして推論するとともに、効果的な提案の仕方を考え、自分の考えを表現することができる。	協働的に学んだり、探究的に学習を進めたりしながら、課題を追及し、自らの生き方に生かすことができる。

2 PBLの授業展開

鹿川小学校でのPBLの取組例
第6学年「Catch Your Dream!②」
～ふるさと江田島にこうけんしよう!～

本質的な問い
「社会の一員」として生きるとは？



単元を貫く問い
ふるさと江田島に貢献するにはどうすればよいだろうか



2 PBLの授業展開

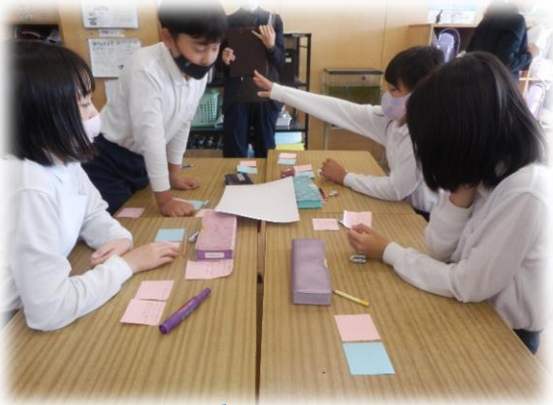


1年生活科
「あきのおもちゃランドであそぼう」

2年生活科 「うごくうごくわたしのおもちゃ」



4年総合的な学習の時間
「人にやさしいまち江田島」



5年総合的な学習の時間
「江田島の食をみつめて」

- ・本年度は、すべての学年で研究授業を実施した。
- ・全教員が、「PBL」の進め方について理解を深めることができた。
- ・鹿川小学校のInstagram(@etjm.kanokawa.sho)を開設した。今後は学習の成果の発信や地域連携において、効果的に活用する予定である。

2 PBLの授業展開

能美中学校でのPBLの取組
1学年～江田島が好きじゃけえ、
海もみがこうや！



課題設定

- ・里海学習(さとうみ科学館と連携)
- ・課題発見(マッピング)

展開

- ・情報収集
- ・整理・分析
- ・表現(ゲストティーチャー等)
- ・振り返り



まとめ

- ・最終目標の相手に発信
- ・振り返り

総合的な 学習の時間	第 1 学年	江田島市立能美中学校	指導者 下光 宏基 堂中 典子
単元名	「ここから始めよう SDGs」 ～江田島の海を変えていくために、自分にはどんなことができるか～		
本単元で育成する資質・能力		伝え合う力	

【本質的な問い】(何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」)
ここ江田島から広島の海をどう変えていけるか。

【単元を貫く問い】(単元を通して考え深めていく「問い」)
江田島の海を変えていくために、自分にどんなことができるか。
「江田島が好きじゃけえ、海もみがこうや！」

【個別の問い】(授業内で身に付ける知識・技能等)
○地域貢献とは ○ゴミの定義とは ○江田島の魅力とは ○SDGsの目標と考え方は
○江田島の環境問題とは ○自然に優しいエネルギーとは ○効果的な発信方法とは

【単元の目標】

「ここから始めようSDGs～江田島の海を変えていくために、自分にはどんなことができるか～」を問い続けることを通して、地域資源を活用した体験活動を充実させ、地域の魅力を知り、課題の発見とその解決を図るとともに人との関わりや将来の生き方を考えさせる。また、活動を通して知ったこと身に付けたことを発信するとともに、効果的に伝えるための手段を身に付けさせる。

2 PBLの授業展開

能美中学校のPBLの取組
1学年～江田島が好きじゃけえ、海もみがこうや！

次なる目標
★修学旅行でSDGs★

発信：地域や社会

発信：ゲストティーチャー

発信：班で交流

里海学習
課題発見

課題の設定

まとめ・表現

情報の収集

整理・分析

改善

改善



2 PBLの授業展開

江田島市
@etajimacity

ホーム
投稿
動画
写真
基本データ
コミュニティ
募金キャンペーン
ページを作成

いいね! シェア ページをブロック ...

メッセージを送る

江田島市
2021年12月21日 16:26

～能美中学校1年生・SDGsの取り組み～
江田島が好きじゃけえ、海もみがこうや!

能美中学校1年生は、総合的な学習の時間の授業で、4月に里海学習「海辺の漂着物調査」を行いました。そして、海洋ゴミの現状から、「江田島が好きじゃけえ、海もみがこうや!」をテーマに各班で取り組みたい課題を設定し、これまで学習を進めてきました。ここでは、その取り組みを紹介します。 ...
もっと見る

私たちの思い〜ここから始めようSDGs〜

運、能美中学校第1学年は、総合的な学習の時間の授業で、4月に里海学習「海辺の漂着物調査」を飛代海岸で行いました。そして、江田島の海洋ゴミの現状を知りまは、ペットボトルや生活用品とともに、カキ養殖に使用されるプラスチック製の多く漂着している様子でした。私達はこれを見て、どのようにして解決したら良えることにしました。

こで、能美中学校第1学年では、「江田島が好きじゃけえ、海もみがこうや!」テーマのもと、各班で江田島の海を守るべくSDGs活動に取り組みました。幸は、海に囲まれたこの島の海岸がゴミで汚れて、江田島の景観をそこねて問題を解決するために、市全体でこの問題に向き合う必要があると考えました。私達が海洋ゴミに対し無知だったように、もしかしたら、多くの人の海洋ゴミ意識も薄いのかもかもしれないと思い始めました。

こで、私達は江田島市役所のご協力を得て、市のフェイスブックから、皆さんのご対する意識を高めていただきたく、江田島の海の情報を発信するとともに、帯活動を行うことを勧めさせていただきます。

ゴミについて調べると、上記のグラフに併フにあるように、約135の海岸に漂着したのが確認されていることがわかりました。そして、漂着している廃棄物も多岐にわたります。中でも高層のゴミも目撃されたことが多く、中には工場のゴミも目撃されました。また、動物の糞も目撃されたことが多く、衛生面でも問題が指摘されています。中学生の取り組みですが、私達の力で少しでも海洋ゴミの削減に貢献したいと考えています。興味のある方は、ぜひフェイスブックで連絡をお願いします。

52

シェア5件

いいね! コメント シェアする

ページの透明性 もっと見る

Facebookではページの目的を理解するうえで役立つ情報を公開しています。コンテンツの管理や投稿を行っている人が実行したアクションを確認できます。

ページの作成日: 2013年2月27日

ユーザー >

「いいね!」 1,396件

関連ページ

- 江田島ええとご発信プロジェクト 団体
- えたじマルシェ ランドマーク・名所旧跡
- 江田島市商工会 ローカルビジネス
- えたじまづくり市 光瀬寺 実行... 趣味・関心
- ポークアンドチキン江田島 バーベキュー料理店

スポット ▶ 江田島市 ▶ 地域団体 ▶ 政府機関 ▶ 江田島市

日本語 · English (US) · Español · Português (Brasil) · Français (France) +

プライバシー · 規約 · 広告 · AdChoices · Cookie · その他

江田島市facebook (令和4年1月4日) より

3 本年度の成果と課題

能美中学校「生徒アンケート」において 肯定的な回答の割合が80%を超えている項目

	内 容	4月	12月	4月との差
【主体性】 やる気をもって 自分から進んで 主体的な姿勢 課題発見	授業では、解決しようとする課題について、「たぶんこうではないか」、「こうすればできるのではないかと予想をしている。	83.2	90.1	6.9
	物事を進めるときに見通しをもった計画を立てるようにしている。	82.3	82.9	0.6
	授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。	83.2	91.9	8.7
【伝え合う力】 協働 受信＋発信	授業では自分の考えを積極的に伝えている。	57.5	57.7	0.2
	自分の考えを場面や状況に合わせて、分かりやすく相手に伝えるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫している。	76.1	76.6	0.5
	相手の込められた思いを大切にしながら話を聞くようにしている。	93.8	93.7	-0.1
【やりきる力】 最後までやりきる 諦めない 粘り強く	分からないことはそのままにせず、分かるまで努力している。	77.0	84.7	7.7
	自分でやると決めたことは、やり遂げようとしている。	90.3	90.1	-0.2

3 本年度の成果と課題

成果

- 児童・生徒が「探究のサイクル」を体験的に理解することができた。
- 教師が研修や授業研究を通して、「PBL」について理解を深めることができた。
- 地域人材との連携を図ることができた。
- 校区内の小・小及び小・中連携を図ることができた。
- カリキュラム・マネジメントを通して、各教科等とのつながりを意識した単元開発ができた。（各学年1単元の開発）

課題

- 児童の興味・関心により合わせた学習課題の選定(年間計画等の見直し)
- より効果的なカリキュラム・マネジメント（各学年の年間計画の見直し）
- ルーブリックの質の向上
- 学校を支援してくれる地域企業の発掘



PBL(プロジェクト型学習)で児童生徒は変わる！

ご清聴ありがとうございました